【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公表番号】特表2019-526339(P2019-526339A)
【公表日】令和1年9月19日(2019.9.19)
【年通号数】公開・登録公報2019-038
【出願番号】特願2019-511428(P2019-511428)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　13/00　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/10　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/06　(2006.01)
Ａ６１Ｈ　39/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　13/00　３５５Ｚ
Ａ６１Ｆ　13/00　３５５Ｓ
Ａ６１Ｆ　13/10　Ｓ
Ａ６１Ｆ　13/06　Ａ
Ａ６１Ｈ　39/04　Ｗ

【手続補正書】
【提出日】令和2年8月21日(2020.8.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
治療用圧迫装置であって、
近位端及び遠位端及び主ラップを有する主ラップと、
近位端及び遠位端を有する副ラップであって、前記副ラップの前記近位端が、前記主ラップの前記遠位端に接続されている、副ラップと、
前記主ラップ及び／又は前記副ラップ内の少なくとも１つのブラダと、
前記主ラップ上の膨張ポートを介して前記ブラダに接続された膨張手段であって、逆止弁を含む、膨張手段と、を備え、
前記膨張ポートが、様々な膨張手段に汎用的に接続可能であるように構成されている、治療用圧迫装置。
【請求項２】
前記主ラップが、（ａ）使用時に肢部に面して配置されるように構成及び適合された内側シートと、（ｂ）外側シートであって、前記内側シートと前記外側シートとの間に画定された前記ブラダと一緒に前記内側シートに接合された、外側シートと、を含む、請求項１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３】
前記膨張手段が、手動ポンプ、静的ポンプ、間欠ポンプ、電気式膨張ポンプ、電池式膨張ポンプ、ガソリン式膨張ポンプ、静的空気圧圧縮ポンプ、間欠空気圧ポンプ、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項４】
前記少なくとも１つのブラダが、前記膨張手段に接続されたときに連続的な勾配圧力を可能にする１つのチャンバを有するように構成されている、請求項１に記載の治療用圧迫

装置。
【請求項５】
前記膨張手段が、前記少なくとも１つのブラダ内で前記ブラダの膨張した状態を作り出す前記膨張手段により作り出された圧力を保持することを可能にし、前記少なくとも１つのブラダ内で前記ブラダの部分的に収縮した状態を作り出す設定された圧力量を解放することを可能にし、前記少なくとも１つのブラダ内で前記ブラダの完全に収縮した状態を作り出すようにすべての圧力を解放することを可能にするように構成された三路スイッチを含む、請求項１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項６】
前記膨張手段が、リアルタイム圧力測定機構を含む、請求項１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項７】
面コネクタと、逆止弁と、弁帽とを更に備え、前記弁帽が、前記少なくとも１つのブラダ内の前記膨張手段によって作り出された圧力を解放することができる、請求項１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項８】
過膨張から保護するように、前記少なくとも１つのブラダに動作可能に接続された逆止弁を更に備える、請求項１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項９】
前記逆止弁が、所定の圧力で開放するように設定されている、請求項８に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１０】
前記逆止弁が、使用者選択可能な圧力において開放するように構成されている、請求項８に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１１】
収縮のために前記主ブラダに動作可能に接続された通気弁を更に備える、請求項８に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１２】
前記主ラップの前記近位端、又は前記副ラップの前記遠位端のいずれかに接続された少なくとも２つのタブを更に備え、前記タブが、平面に沿って少なくとも２つの治療用圧迫装置を一緒に接続することができるように構成された接続手段を含む、請求項１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１３】
治療用圧迫装置であって、
遠位端及び近位端を有する主ラップであって、少なくとも１つのブラダを含む、主ラップと、
近位端及び遠位端を有する副ラップであって、前記副ラップの前記近位端が、前記主ラップの前記遠位端に接続されている、副ラップと、
前記ブラダ上の膨張ポートを介して前記ブラダに接続された膨張手段であって、前記膨張ポートが、逆止弁を含む、膨張手段と、
アセンブリであって、ａ）肢部の周囲に取り付けるための可撓性部材と、第１の減圧状態及び第２の加圧状態をとる空気チャンバであって、前記空気チャンバが、長さ及び幅を有し、前記幅が、前記可撓性部材の前記幅の半分未満である、空気チャンバと、を有する圧力機構と、ｂ）前記空気チャンバの前記幅よりも小さい長さ及び幅を有する予充填空気ブラダと、ｃ）前記予充填空気ブラダに結合された吸収性発泡体、スポンジ、又はドレッシング材と、ｄ）前記吸収性発泡体、スポンジ、又はドレッシング材と流体連通し、負圧源と結合するように適合された吸引導管と、を含む、アセンブリと、を備える、治療用圧迫装置。
【請求項１４】
前記アセンブリの予充填空気ブラダ、前記吸収性発泡体、スポンジ若しくはドレッシン

グ材、及び前記吸引導管が、前記吸収性発泡体、スポンジ若しくはドレッシング材と、前記予充填空気ブラダとの間に配置された前記吸引導管と共にユニットとして一緒に接着されている、請求項１３に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１５】
前記アセンブリの吸引導管は、流体コネクタ内で一端が終端する、請求項１３に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１６】
前記アセンブリの吸引導管は、複数の孔を有する分岐管内で一端が終端する、請求項１３に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１７】
前記アセンブリの分岐管が、前記吸収性発泡体、スポンジ、又はドレッシング材の周辺部の周囲に少なくとも部分的に延在する、請求項１３に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１８】
前記アセンブリの予充填空気ブラダが、中央開口部を画定し、前記吸引導管が、前記中央開口部中に延在する、請求項１３に記載の治療用圧迫装置。
【請求項１９】
前記アセンブリの予充填空気ブラダが、ストラップを有し、前記吸収性発泡体、スポンジ又はドレッシング材が、封止された周縁を有する、請求項１３に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２０】
前記アセンブリの予充填空気ブラダが、生体適合性接着剤を設けた周辺部を有する、請求項１３に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２１】
圧力を人体の脚部に加えるための治療用圧迫装置であって、
膨張によって内部に入る流体を収容する第１の膨張可能なチャンバを有する足部ブラダと、
膨張によって内部に入る前記流体を収容する第２の膨張可能なチャンバを有する脚部ブラダと、
前記脚部ブラダを前記人体の前記脚部上に配置するための第１の手段と、
前記足部ブラダを前記人体の足部上に配置するための第２の手段と、
前記足部ブラダ及び前記脚部ブラダを流体的に結合する流体導管であって、流体が、前記流体導管を通って前記足部ブラダから前記脚部ブラダに、かつ前記流体導管を通って前記脚部ブラダから前記足部ブラダに移動することができるようになっている、流体導管と、
前記脚部ブラダ上の膨張ポートを介して前記脚部ブラダに接続された膨張手段であって、逆止弁を含む、膨張手段と、を備え、
前記膨張ポートが、様々な膨張手段に汎用的に接続可能であるように構成されている、治療用圧迫装置。
【請求項２２】
前記第１の配置手段が、前記脚部ブラダを前記脚部に固定するように前記脚部の周囲に巻き付ける第１の取り付け部材である、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２３】
前記第１の取り付け部材が、前記脚部ブラダに取り付けられた複数のストラップである、請求項２２に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２４】
前記第１の取り付け部材が、前記脚部の周囲、及び前記脚部ブラダの上に巻き付ける可撓性部材であり、前記脚部ブラダが、前記脚部と前記可撓性部材との間に挟まれている、請求項２２に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２５】
前記第２の配置手段が、前記流体足部ブラダを前記足部に固定するように前記足部の周

囲に巻き付ける第２の取り付け部材である、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２６】
前記第２の取り付け部材が、前記足部ブラダに取り付けられた複数のストラップである、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２７】
前記複数のストラップが、前記ストラップを前記足部に取り付けるための接着剤又は面止め具を有する、請求項２６に記載の装置。
【請求項２８】
前記足部ブラダが、前記足部のかかとの底部に取り付けられている、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項２９】
前記第１の取り付け部材が、副空気ブラダを含み、前記可撓性部材が、前記脚部の周囲に巻き付ける包囲構成、及び開放された非巻き付け構成を有し、前記副空気ブラダが、前記包囲構成において前記可撓性部材によって支持され、前記副空気ブラダは、前記包囲構成において前記可撓性部材によって支持されたときに圧迫力を前記脚部に加えるように、半径方向の内側に向けられる圧迫力を供給する加圧状態へと膨張することが可能である、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３０】
前記流体が、空気、気体、又は液体のいずれかである、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３１】
前記足部ブラダ及び前記脚部ブラダは、前記流体が前記足部ブラダから押し出されるときに、前記脚部ブラダが前記足部に追加の圧力を加えるように配列されている、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３２】
前記追加の圧力が、１０～２０ｍｍＨｇの追加の圧力である、請求項３１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３３】
前記脚部ブラダが、第１の状態で前記脚部に３０～４０ｍｍＨｇの圧力を加え、流体が前記足部ブラダから押し出されるときに、前記脚部に５０～６０ｍｍＨｇの圧力を加える、請求項３２に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３４】
前記流体導管が、第１の端部及び第２の端部を有し、前記脚部ブラダ及び前記足部ブラダの各々が、前記流体導管の前記第１及び第２の端部のうちの一方を受容するためのノズルを有する、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３５】
前記膨張手段が、手動ポンプ、静的ポンプ、間欠ポンプ、電気式膨張ポンプ、電池式膨張ポンプ、ガソリン式膨張ポンプ、静的空気圧圧縮ポンプ、間欠空気圧ポンプ、及びそれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３６】
主及び副ブラダが、前記膨張手段に接続されるときに連続的な勾配圧力を可能にする１つのチャンバを有するように構成されている、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３７】
面コネクタと、逆止弁と、弁帽とを更に備え、前記弁帽が、前記主及び副ブラダ内の前記膨張手段によって作り出された圧力を解放することができる、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３８】
過膨張から保護するように、前記主ブラダに動作可能に接続された逆止弁を更に備える、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。
【請求項３９】

前記逆止弁が、所定の圧力で開放するように設定されている、請求項３８に記載の治療用圧迫装置。
【請求項４０】
前記逆止弁が、使用者選択可能な圧力において開放するように構成されている、請求項３８に記載の治療用圧迫装置。
【請求項４１】
収縮のために前記主ブラダに動作可能に接続された通気弁を更に備える、請求項２１に記載の治療用圧迫装置。